

私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	八王子美山学園		施設番号	41-0015
項目	評価結果に基づく現状分析 (平成20年度)	改善計画 (平成20年度末時点)	実施状況 (平成21年10月1日時点)	
経営方針への保護者等への浸透	平成19年10月に新制度に移行し、家族会やパンフレット等にて経営方針等は説明をしましたが、制度の変更など充分理解されるには、更なる説明や実態を見ていただき、事業所と家族が一体となって利用者を支援できるよう協力して行きたいと考えております。	<p>○家族会や広報紙を利用して現状や今後の方針について説明していく。</p> <p>○新制度に移行し、日中の活動が充実してきており、利用者の生き生きと働く姿を家族にも見ていただく機会を提供する。</p> <p>○自己負担の増加の不満等もあるが、基本的なサービスとオプション的なサービスを明確に説明し、理解をいただく。</p>	<p>○家族会や広報紙を利用して現状や今後の方針について説明するとともに、12月には共同生活事業（地域移行）についての講演を家族会にて行う予定になっている。また、個別支援計画策定時に、利用者の移行を一番に考え、家族の同意のもと、オプション的なサービスの説明をし、申込をいただいている。</p>	
作業環境改善確立に向けた継続的な取組み	リサイクル作業の環境は作業的に臭気や衛生的にも劣悪になりやすい環境にあるため、平成19年度からの課題となっており、平成20年度にも作業場の防水・塗装工事を始め整備を進めました。また、補助金を利用し、リスクのある工程についてオートメーション化（機械の導入）を行いました。今後も、環境及び安全については充分配慮していきます。	<p>○保健所等からも情報を受けながら定期的に清掃・消毒・防虫等を実施。</p> <p>○季節にあった作業着（カッパ、エプロン等）の提供。</p> <p>○リスクマネジメントの観点から、常に工程の安全性、効率性をチェックして、改善事項があった場合には、迅速に対応していく。</p>	<p>○各作業でのマニュアルを作成し、常に安全に心がけるとともに、刃物などの危険なものについては、毎日チェックするなど気を付けている。また、毎日の清掃はもちろんのこと、週末の金曜日には、高圧洗浄機を使った清掃なども行っている。</p> <p>○利用者の能力や安全性に応じた作業ができるよう、新しい作業（キャップ分別、携帯電話リサイクル）も取り入れ、常にその人にあった作業ができるよう心がけている。</p>	
職員教育の推進によるサービスの徹底	利用者調査において、満足度が総じて高いことは、一定の評価を得ていると思われませんが、一部の方とはいえ、職員の言動に対する不満が見られた事は大きな課題と感じています。朝の申し送りや職員会議・職員研修等にて職員には教育していますが、職員同士でも注意しあえる環境を作っていく、職員が一丸となってサービスの向上に努める必要があると考えます。	<p>○利用者の意見や苦情を常に収集し、サービスの向上に努める。</p> <p>○常に複数の職員を配置するなど、職員同士で注意しあえる環境（雰囲気）作り。</p> <p>○職員研修、職員会議等を利用したの職員育成。</p> <p>○外部の研修を利用したの職員育成。</p>	<p>○常に複数の職員を配置するため、夜間の職員を補充し、6月からは常に4人以上の態勢を取っている。</p> <p>○外部の研修にも積極的に参加するとともに、内容などについては、会議などを利用し、発表の機会をつくり、職員が勉強できる場を作っている。</p> <p>○職員の言動については、今後も職員同士で注意しあえる環境を作るように努める。</p>	

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価（又は利用者に対する調査）の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。

